

# 栃木県生協連・2012年度10月定例報告



2012年10月25日  
栃木県連 専務 鎌柄

## (1) 9月活動日誌

日付	曜日	内容
9月2日	日	栃木県・那須烏山市総合防災訓練
9月3日	月	県地産地消実行委員会幹事会、労福協幹事会
9月5日	水	県連国際協同組合年ワーキングチーム会
9月6日	木	6県連合同業態研修会(於 新潟県連)
9月7日	金	6県連合同業態研修会(於 新潟県連)
9月8日	土	いわき四倉工業団地仮設でのお茶会
9月9日	日	在宅医療市民推進フォーラム(小山)
9月10日	月	消費者ネットワーク全体会、同消費生活条例検討委員会
9月11日	火	県連拡大役員研修会(税と社会保障学習会)
9月12日	水	県食育推進連絡会
9月13日	木	地連職域協議会
9月18日	火	ふれあいお茶会
9月19日	水	福祉センタービジョン委員会
9月20日	木	食の安全消費者セミナープロジェクト
9月21日	金	ふれあいコープ理事会
9月22日	土	NPO あじさい・アナベル(高齢者向け賃貸住宅)内覧会・祝賀会
9月24日	月	県連常務理事会
9月25日	火	地連運営委員会・県連活動推進会議
9月26日	水	宇都宮市消費者団体連絡会
9月27日	木	関東農政局宇都宮地域センター食育ネットワーク情報交換会
9月30日	日	うつのみやもったいないフェア

※まとめは概況とします。

## (2) 9月活動の概況

### (会員等の動き)

9月22日とちぎ労働者福祉事業団関連のNPO法人あじさいのサービス付き高齢者住宅「アナベル土塔」(小山市)の内覧会と祝賀会が開催された。小山市長、竹内会長はじめ来賓の挨拶があり、3階建、延べ床207坪、1階デイサービス、ヘルパーステーション、2~3階はサービス付き高齢者住宅20室で、近隣でも大きな施設として開所された。今後、地域の様々な要望に応えられる施設としての発展が期待される。

9月5日とちぎコープ生協とよつ葉生協が、東電、東京ガス、郵便(株)、ヤクルト、ヤマトとともに栃木県との「栃木県孤立死防止見守り事業(とちまる見守りネット)に係る協定」をされた。これまで各市と個別に結んでいた部分も含めて対応されていく予定。

よつ葉生協では、県域を越えて認可を受けていることから国（厚労省）の出先機関の関東信越厚生局から初めての生協定期検査が、9月に3日間行われたとの報告があった。

国際年の関係では、10月28日には全労済栃木県本部としての組合員向け「防災フェスティバル」が、県の防災館で予定されている。

#### (拡大役員研修会)

9月11日「拡大役員研修会」として（税と社会保障の学習会）を開催した。この間国会では、税と社会保障の問題を論点に消費税率引き上げを含む「社会保障・税一体改革」関連法案が可決成立した。社会保障の歴史、社会情勢（財政赤字、少子高齢化など）、税と社会保障の構造、少子・高齢化と人口推移、一体改革の内容、社会保障と税のあり方と順を追って分かりやすく、報告がされた。講師は、日本生協連政策企画部の三谷和央氏で、参加は8会員約50名だった。



(拡大役員研修会「税と社会保障の学習会」)

#### (部会等の動き)

9月6～7日5県連主催の「合同業態研修会」が開催された。今回は新潟県連主催で、佐渡で開催された。栃木県連からは3名の参加だった。2013年度は、栃木県連主催となり受け入れの準備を、実行委員会を設けて進めて行く予定。

#### (宇都宮市内と福島県から避難されている方々のふれあいお茶会)

9月18日（火）14回目のふれあいお茶会が開催された。参加者は、浪江町の方7名、福島市の方4名、双葉町の方2名、南相馬市の方4名（内子供1名）、大熊町の方7名、相馬市の方1名、飯館村の方1名、大人25名 子供1名の参加があった。とちぎ暮らし応援会1名、スタッフは県連、とちぎコープ、よつ葉生協、ふれあいコープ、NPOウィズ、計14名だった。家にこもりがちな父親を連れて参加された娘さんなど、男性の参加も少し増えてきた。居場所（はな）利用者の90歳、88歳の方がボランティアとして参加された。東電から4名の参加があり原発の現状など、説明がされた。とちぎ暮らし応援会からも現在の取組みの説明がされた。

#### (いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

9月8日第7回目のいわき市四倉中核工業団地仮設でのお茶会を開催。参加スタッフは、とちぎコープ8名、NPOウィズ1名、NPO市民工房の関係の宇都宮大学院生1名、県連2名の計12名、車はとちぎコープ、県連車の2台でいわきに向かった。

参加された方は大人14名、子ども3人で、計17人だった。避難されているお母さんに所に来られていた娘さんとお孫さん3人が、初めての参加だった。男性の参加は少なく、いつ

も来ていただける方1名だった。お茶と軽食での交流の後、ナイロンのロープを使った手作りの籠づくりなどを、皆さんで楽しまれた。

#### (EAST LOOPへのご協力のお願い)

岩手、宮城など被災された方々が製作されているハートブローチについて、約500ヶの普及が進められた。また、組合員さん向けに事業ルートを通して普及が進められ、とちぎコープで約1,070ヶ、よつ葉生協で309ヶの普及が行われている。

#### (食の安全課題の関連)

9月20日第6回「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」プロジェクトも開かれた。「消費者セミナー」の各会場の日程、講師、予算、お知らせと募集、保育などの企画内容と今後の準備内容について、検討が行われた。J A栃木中央会では県内3会場を予定されたが、県主催の地域学習会と重なり、県北会場は取りやめ、全体で6団体、18会場になる予定。

#### (消費者課題の関連)

9月10日消費者ネットワーク全体会は20名の参加で、県消費者行政推進室との意見交換会を含めて開かれた。県からは、須賀室長、綱川副主幹、湯澤主事の3名が参加された。テーマは、「今後の消費者行政について」、県議会での取り組み、県としての平成25年度に向けた考え方など、前向きな意見交換ができた。

同日消費者ネットワークの第1回消費生活条例試案検討委員会が続いて開かれ、8団体、弁護士さんを含む11名のメンバーで、自治体に提案できる条例試案のねらいや内容について、意見交換がされた。

#### (国際協同組合年)

9月5日第13回の国際協同組合年ワーキングチーム会が開催された。今回は、協同組合の役割を考える上で、県内で社会的な課題に取り組んでいる一般社団法人の栃木県若年者支援機構の中野理事長と寶島部長に取り組み内容の報告をいただいた。

様々な事情で就労が困難な若者の支援として、若者ジョブトレーナー事業などに取り組んでいて、県内でも多くの若者がそうした環境にあるという。生協としても、若者の就労支援への協力への期待を込めて報告をいただいた。

#### (日本生協連関連報告及び要請事項)

9月25日公正取引委員会から日本生協連が、「下請代金支払遅延防止法」に基づく勧告と指導を受け、これまでの最高額(勧告・代金の減額、返品禁止、不当な利益の提供要請で約25.7億円、指導・延滞利息で13億円)でもあり、指導内容含めて全国的に報道され、組合員、組合員から日生協、単協に問い合わせがされた。県連としても、県くらし安全安心課や他団体等への状況報告とお詫びを行った。法令順守体制と関連法令への理解が求められている。

6月厚労省からの指摘を受けて、9月5日付で非組合員の有料お試し企画の中止に関するお知らせが、日本生協連より出された。

安心して住める「福島」を取り戻すための活動について、募金及び署名について会員での取り組みをいただいている。

ブリヂストン那須グループ生協 職員内での署名の集約  
栃木県職員生協 職員内での署名の集約  
生活クラブ生協 組合員向けに署名推進 集約9月中  
とちぎコープ生協 組合員向けに署名推進と募金の推進  
よつ葉生協 組合員向けに署名推進と募金の推進  
栃木県学校生協 組織としての募金に取り組む  
ふれあいコープ 職員内での署名の集約 9月末1次集約、12月末2次集約

引き続き、他の会員でも可能な取り組みの推進をお願いしたいと思います。

#### 「あんしん福島募金」

- ・全国目標 13,600万円(福島県内生協へ内部被爆の測定器、食品の放射線測定器)
- ・期日 2012年度末

#### (行政・他団体との協働)

9月2日栃木県・那須烏山市との総合防災訓練は、9月定例報告で報告。  
次年度は足利市での開催の予定。

#### (3) 10～1月の課題

1. 10～1月部会活動の推進  
(うつのみや食育フェアへの出展、ECOテック&ライフへの出展)
2. 10～1月ネットワーク活動(食の安全ネット、消費者ネット、福祉ネット)  
推進  
(食の安全安心とちぎ消費者セミナーの推進を含む)
3. 2012年国際協同合年栃木県実行委員会開催と交流会の成功
4. 栃木県生協連内の国際協同組合年ワーキングチームの活動推進
5. 安心して住める「福島」を取り戻すための活動推進
6. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣
7. 第5次中計委員会の推進

(2012年度・栃木県連・ネットワーク・行政・関係団体等行事の事前のお知らせ)

## 1. 栃木県生協連の活動予定 (9～10月)

10月13日(土) 8時壬生集合、11時～、いわき市四倉工業団地仮設での「お茶会」

10月16日(火) 10時～、特養みどり「ふれあいお茶会」

10月17日(水) 16時～、国際協同組合年ワーキングチーム会

10月22日(月) 10時～、とちぎ福祉プラザ・2階第1研修室

### 栃木県生協連くらし部会拡大学習会

講師 独立行政法人 科学技術振興機構 顧問 北澤宏一氏

(福島原発事故独立検証委員会 委員長)

### 仮題「福島第原発事故の課題と今後エネルギーの在り方」

・福島第一原発事故から見える課題など

・今後のエネルギー政策を考える上での視点、  
各エネルギーの現状や課題について

10月26日(金) 10時～、福祉プラザ301、県連理事会

## 2. ネットワークの活動予定

10月15日(月)、労福センター、とちぎ食の安全ネットワーク「世話人会」

同、とちぎ消費者ネットワーク「幹事会」

同、消費者ネットワーク「条例試案検討委員会」

10月18日(木) 福祉ネットワーク(多摩平の森)見学会

10月19日(金)、アグリ、食の安全ネット「消費者セミナー」プロジェクト

10月25日(水) 10時～、日光市中央公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 茨城大学理学部 教授 田内 広氏

10月30日(火) 10時～、高根沢町民広場内・改善センター、同「消費者セミナー」

講師 福島県水産試験場 場長 五十嵐 敏氏

11月1日(木) 10時～、足利市民プラザ、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 茨城大学理学部 教授 田内 広氏

11月2日(金) 10時～、栃木市健康福祉センター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 福島県水産試験場 場長 五十嵐 敏氏

11月6日(火) 10時～、真岡市真岡西分館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 茨城大学理学部 教授 田内 広氏

11月8日(木) 10時～、間々田市民交流センター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 日本大学医学部 准教授 野口 邦和氏

11月16日(金) 10時～、栃木県教育会館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 獨協医大 准教授 木村 真三氏

11月19日(月) 10時～、那須塩原市三島公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 日本大学医学部 准教授 野口 邦和氏

11月28日(水) 10時～、鹿沼市民文化センター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 獨協医大 准教授 木村 真三氏

12月5日(水) 13時半～、JAしもつけアブロー、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

講師 獨協医大RIセンター 高橋克彦氏

- 12月7日(金) 13時半～、福祉プラザホール、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 農林水産省 大臣官房技術総括審議官 山田 友紀子氏
- 12月10日(月) 13時半～、JA栃木教育センター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 獨協医大RIセンター 高橋克彦氏
- 1月25日(金) 13時半～、佐野市中央公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 農林水産省 大臣官房技術総括審議官 山田 友紀子氏
- 1月28日(月) 10時～、宇都宮市東市民活動センター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 高木学校 山田 千絵氏
- 1月30日(水) 10時半～、小山市中央公民館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 日本大学 教授 藤村 靖之氏
- 2月4日(月) 10時半～、那須塩原市いきいきふれあいセンター、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」、講師 有機農業者 館野 廣幸氏
- 2月8日(金) 13時半～、矢板市生涯学習館、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 農林水産省 大臣官房技術総括審議官 山田 友紀子氏
- 2月中旬予定、13時半～、アピア予定、「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」  
講師 福島県水産試験場 場長 五十嵐 敏氏予定

- 1月24日(木) 13時半～、宇都宮大学・大学会館、「消費者シンポジウム」  
2月7日(木) 13時半～、つくば国際会議場、「関東ブロック消費者グループフォーラム」

### 3. 国際協同組合年関係

- 12月5日 15時～、東武ホテル、「協同組合交流会」

### 4. 栃木県及び宇都宮市、他団体の行事参加の予定

- 10月29日(月) 13時半～、県総合文化センター、栃木県食育推進大会  
11月9日(金) 13時半～、公正取引委員会「講演会」  
12月1～2日(土) マロニエプラザ、県ECOテック&ライフ2012  
12月18日(火) 13時半～予定、JA教育センター予定、「食と農をつなげる会」